

緻密な職人 DNA が脈々と継承される青木ワールド

青木製作所の前身、青木工業が産声を上げたのは 1990 年 3 月。当時、サラリーマンとして働いていた青木延一（現取締役会長）が一念発起して創業を果たし、翌々年 1 月には最初の工場を建設・稼働させました。

その後、事業拡大に併せて現在の（株）青木製作所が構築されますが、こうした変化のなかで常に会社のベースに根ざし続けているものがあります。

それが、会長から継がれる「職人 DNA」です。

「1000分の2ミリ」と 「1000分の5ミリ」の違いを直観する力

青木製作所のメンテナンス事業では、「技術力 × スピード × 情熱」から弾き出される独自のパワーが推進エネルギーになっています。

そして、そのエネルギーは創業時から継承されてきた「職人による技と気質」がなければ生まれないのです。指先で触れただけで、「1000分の2ミリ」と「1000分の5ミリ」の違いを直観する力。対象物を見ただけで、修理内容やスケジュールを把握できる力。

こうした長年の仕事で刷り込まれた力こそ、青木製作所の源泉であり、現場でお客様のご要望に応える社員たちが達すべき領域です。

1

1000mm